

進路シラバス 【2年次】

重点目標

1. 部活動、行事等と学習を両立し、学習習慣（週平均4[時間/日]）を進化させる
2. 授業に集中し、得意科目の強化や苦手科目の克服に努める
3. 10月から「受験生」へと気持ちを切り替える
4. 希望する進路先の具体的な情報を収集し、譲れぬ第一志望を決める
5. 国語・数学・英語の基礎の完成と演習による深化と2次力の養成

学期	月	行事	学習関係		進路関係		
			関連行事	目標・内容	関連行事	目標・内容	
前期	4月	個人面談	学習習慣の見直しと確立		進路希望明確化のための情報収集		
			実力テスト① (国語・数学・英語)	既習内容の定着を確認 &入試レベルの把握	進路講演会①	今年度の目標	
		5月	春季大会	日々の授業内容を定着させる		進路希望調査①	学習習慣の振り返りと目標設定 進路志望について考える
	6月	高校総体	第1回考査	学習内容の定着	年次PTA(保護者向け)	入試制度と今年度について	
			部活動と学習の両立		部活動ではリーダーとしての自覚を持つ		
	7月	北高祭	第2回考査	学習内容の定着	進研模試① (国語・数学・英語)	現状を分析、学習方法を見直し、復習により 学力を深化させる	
			講習、課題、自主的な学習を通して弱点を補強&得意を伸ばす (特に国数英)		長期休業中に、オープンキャンパス等に参加し、進路研究を深める		
		※既習事項の定着100%を目指す		難関大講演会	入試までの道筋と今やるべきことを明確にする	夏期講習	実力養成を図る
		実力テスト② (国語・数学・英語・地歴・理科)		既習事項の基礎定着の確認と入試問題のレベルを把握し、今後の学習計画に役立てる		全統模試①(国語・数学・英語)	
9月			第3回考査	学習内容の定着	年次PTA(保護者向け)	総合型・学校推薦型選抜について	
前期の振り返り(国語数学英語の弱点克服・得意伸長、理科・地歴の学習の見直し)							
後期	10月	後期開始 修学旅行	修学旅行へ向けた事前学習の充実				
			受験スタート(3年生0学期) 3教科→5教科 授業中心に学力養成&相手を知る		進路希望調査②	学習習慣の振り返りと目標設定 進路志望について決めていく	
		11月	三者面談	第4回考査	学習内容の定着	難関大講習開始	高いレベルを目指す
	12月	冬季休業	受験を意識し、計画的に学習を進める		大学の先生による出張講義	大学での学びを知る	
			就職公務員ガイダンス	心構えを知る	進研模試②(5教科)	現状を分析、学習方法を見直し、復習により 学力を深化させる	
	1月				冬期講習	実力養成を図る	
後期	2月		第5回考査	学習内容の定着	進研模試③(5教科)	現状を分析、学習方法を見直し、復習により 学力を深化させる	
			弱点を克服&武器を作り、受験までの1年の計画を立てる				
	譲れぬ第一志望を決定し、 志望理由書を作成する		全統記述模試	2次試験の問題レベルと自己の学力を把握し、今後の学習方法について検討する	共通テスト対応模試	共通テストを知る	
	高校卒業後の進路について考え、表明する(志望理由書作成)		進路講演会③	第一志望達成に向けて			
	志望理由書・集団討論指導開始						
後期	3月	卒業式 修了式 離任式 年度末休業	受験へ向けての学習計画を立てる(自己分析&過去問分析)				
			スタディサポート	2年次の学習内容の定着度を測る	春期講習	5教科の基礎力の完成と入試問題の研究を行う	
					公務員セミナー	公務員試験に向けて学力を養成	

【2年次】

高校3年間の進路選択において、2年次で特に重要なことは、「時間を有効に使うこと」「自分の将来について具体的なイメージを持つこと」「入試の仕組みを知り、受験生としての自覚を持つこと」です。以下に具体的なポイントを示します。

(1) 時間を有効に使うこと(文武両道)

① 1年次の振り返りをしよう

学習習慣の確立、高校生活の充実はできていますか。もし、まだ中学校スタイルの勉強をしている人や、放課後の時間を無駄に過ごしている人は、もう一度、1年次のページを読み直し、すぐに改善しましょう。

② 学習時間の確保

1年次では学習時間の目標は、1日3時間でした。2年次はプラス1時間で1日4時間が目標です。充実した高校生活を送っている人ほど、部活動や行事でますます忙しくなりますが、そんな時こそ「すき間時間」を有効に活用し、自学時間を確保しましょう。2年次の学習習慣は、3年次の最後の「伸び」に直結します。

③ 授業に集中しよう

2年次になると、授業内容が難しくなり、スピードも速くなります。「大学入学共通テスト」の国語・数学・英語は、高校2年次までの学習内容から出題されますので、予習→授業→復習のサイクルと共に、疑問点は授業で解決、復習のできるようにする、という姿勢で臨みましょう。

④ 定期考査・実力テスト・模擬試験の有効活用

定期考査対策に、1~2週間前から、計画的に取り組んでいますか。考査・模擬試験後の復習も重要です。点数が良かった、悪かった、で終わらずに、できなかった問題は必ず、解き直しましょう。この先、弱点克服の際役立つ「振り返りノート」を作成しましょう。

(2) 自分の将来について具体的なイメージを持つこと(志望理由書の作成)

進路研究は進んでいますか。自分の興味あること、得意なことをもとに、職業・学部・学科についての情報収集をしましょう。将来の目標がはっきりしている人は、学習に前向きに取り組むことができます。大事な事は、先送りしないこと。成績が上がってから考える、では遅すぎます。

夏休みは、進路についてじっくり考える良い機会になります。できれば、複数のオープンキャンパスに参加し、自分の希望に合う大学・学部を見つけましょう。同じ名前の学部でも、大学によって学修内容や受験科目が異なる場合もあります。年度末までに志望理由書を作成する。自分で行動し、主体的な進路選択へつなげましょう。

(3) 入試の仕組みを知り、受験生としての自覚を持つこと

大学入試の仕組みは、多様化し、複雑になっています。基本的な仕組みを理解したうえで、対策を検討しなくてはなりません。成功の秘訣は、いかに早く「受験生」に変わるか、です。遅くとも修学旅行明けには、「高校生」から「受験生」へ変わらしましょう。都会の高校生は、この切り替えが上手です。部活動と両立している人は、特に早く「受験生」モードに切り替えましょう。最後まで部活動と両立させ、成功した先輩はたくさんいます。